

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
【部門区分】第4部門第1区分  
【発行日】平成19年11月8日(2007.11.8)

【公開番号】特開2005-315027(P2005-315027A)

【公開日】平成17年11月10日(2005.11.10)

【年通号数】公開・登録公報2005-044

【出願番号】特願2004-136553(P2004-136553)

【国際特許分類】

**E 02 F 9/12 (2006.01)**

【F I】

E 02 F 9/12 Z

【手続補正書】

【提出日】平成19年9月21日(2007.9.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

作業装置(7)を備えた旋回体(2)を、走行装置(3)上に上下方向の旋回軸心(X)回りに回動自在に備え、走行装置(3)の走行フレーム(27)の旋回軸心X上に、ロータリジョイント(117)が取り付けられた旋回作業機におけるロータリジョイントの取付構造において、

走行フレーム(27)の底板(40)に支持ステー(129)が上方突設され、ロータリジョイント(117)の上下方向中央部が、前記支持ステー(129)を介して走行フレーム(27)の底板(40)に取り付けられていることを特徴とする旋回作業機におけるロータリジョイント(117)の取付構造。

【請求項2】

前記支持ステー(129)は、ロータリジョイント(117)の前後に一対設けられ、各支持ステー(129)へのロータリジョイント(117)の取付部(135)は、互いに上下にずらされていることを特徴とする請求項1に記載の旋回作業機におけるロータリジョイントの取付構造。

【請求項3】

前記ロータリジョイント(117)に、側面視L字状の取付部材(132)が設けられ、このL字状の取付部材(132)の一片が、ロータリジョイント(117)側に固定され、取付部材(132)の他片が、前記支持ステー(129)のロータリジョイント取付部(131)に、載置して固定されていることを特徴とする請求項1又は2に記載の旋回作業機におけるロータリジョイントの取付構造。